

## 1 現状の課題（再掲）



旧久喜市：合併時人口 約7.1万人  
 旧菖蒲町：" 約2.1万人  
 旧栗橋町：" 約2.7万人  
 旧鷲宮町：" 約3.6万人

それぞれの市町が行政規模に応じて独自に公共施設の整備を進めてきた背景

結果、**1つの市で考えると、重複して配置される施設が多数存在**  
 （市役所+総合支所×3、保健センター×4、文化会館×3…等）

適正配置のあり方を検討



※施設配置はイメージであり、実際の配置を示すものではありません。

2020年時点：約15万人都市  
 2060年時点：約11万人都市

**現在、そして将来の市の規模を踏まえ、適した施設量・施設配置のあり方を検討しなければならない**

## 2 地域バランスの考え方（案）

利用区分	配置する施設分類 (施設名称)	施設の特性と配置の方針
<b>広域 利用施設</b>	文化会館、体育館、 プール	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化振興機能を有する施設や大規模なイベント・大会等の会場となる施設など、市民に加え、市外周辺地域からの不特定多数の利用を見込む施設</li> <li>○全市域をベースとした配置でサービス提供を行うほか、将来的には、施設の建替え等も含め、近隣市町との広域連携の検討も行っていく</li> </ul>
<b>市全域 利用施設</b>	行政系施設 (市役所、公文書館) 医療・保健施設 学校給食センター 高齢者福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全市民の利用を前提としており、市の公共サービスの拠点となる施設</li> <li>○全市域をベースとした配置で、サービス提供を行う</li> <li>○多くの市民が利用したいと感じるよう、多機能を複合した拠点施設としての整備を目安とする</li> </ul>
<b>地区 利用施設</b>	行政系施設 (総合支所) 社会福祉施設 幼稚園・保育所 子育て支援施設 図書館・資料館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区を主な圏域としており、日常的に求められる身近な行政サービスを提供する施設</li> <li>○地区をベースとした配置で、サービス提供を行う</li> <li>○旧1市3町が独自に整備を進めてきた施設のうち、今後も地区単位での配置が適切な機能について、地区ごとに配置する拠点施設へ複合化することで維持を図る</li> </ul>
<b>地域 利用施設</b>	消防団器具置場 障がい者福祉施設・ 養護老人ホーム 放課後児童クラブ 小学校・中学校 集会所 コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○概ね小学校区・中学校区程度の住民の利用を前提としており、地域生活に密着し特定の住民を対象とした公共サービスを提供する施設</li> <li>○ニーズや人口分布等の地域特性を踏まえたうえで、地域の実態に即して小学校区・中学校区をベースとした配置で、サービス提供を行う</li> <li>○民間事業者や地域住民、自治会等への移管が可能な施設は、譲渡を推進する</li> </ul>
<b>地域の实情に 応じて配置する べき施設</b>	産業系施設 市営住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の特性や状況等を踏まえ、サービス提供が必要と判断される場合に配置する施設</li> <li>○単独に施設を設置しなくとも、周辺のお施設の類似機能にて代替等が可能な場合は、廃止や譲渡を推進する</li> </ul>